排水機場の設備更新により内水排除機能を維持し、湛水被害を防止

5か年加速化対策

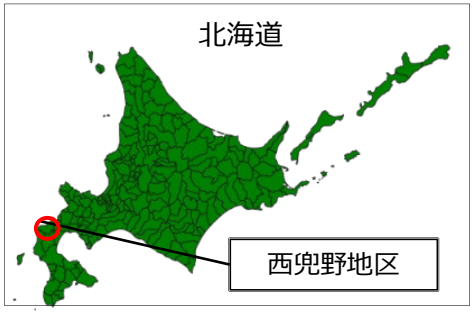
災害時の効果発揮事例

国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

概　　要：西兜野（にしかぶとの）排水機場は、築造後40年以上が経過し機能低下による湛水被害が懸念されていたが、設備更新により降雨時における内水排除機能が回復し、令和５年８月６日からの大雨では１時間降水量43mmを記録したものの、約60haの農地湛水被害を未然に防止した。

対 策 名：1-5 流域治水対策（農業水利施設の整備）＜5か年加速化対策＞【農林水産省】

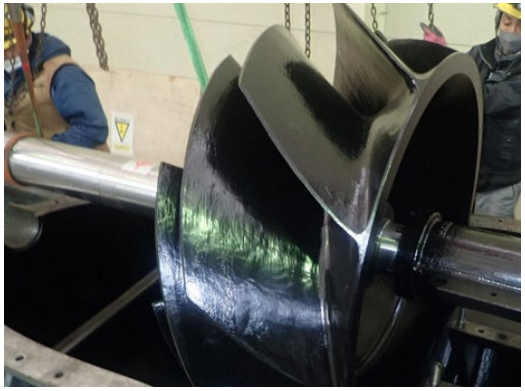
- 実施主体：北海道
- 実施場所：北海道久遠（くどう）郡せたな町（ちょう）
- 事業概要：大雨時でも適切な内水排除機能を確保するため、老朽化していた西兜野排水機場の機械設備、電気設備を更新整備し、長寿命化を実施。
- 事業費：9.3億円
  （うち5か年加速化対策による事業費 4.2億円）
- 災害の外力、被害と効果：機能低下により、降雨時に内水排除ができず約60haの農地湛水被害のおそれがあったが、設備更新により、被害を未然に防止。令和５年８月６日からの大雨（１時間降水量43mm）においても、排水機場の内水排除機能により、農地の湛水被害を防止することができた。



事業名	事業費	対策期間
水利施設等保全高度化事業	9.3億円	R3～R7
うち５か年加速化対策	4.2億円	R4～R5

ポンプの分解整備





【対策前】 湛水被害のイメージ



【対策後】 降雨後の機場周辺

